



2012 年 8 月 13 日
MTV Networks Japan株式会社
株式会社 リビエラ東京
avex live creative inc.

水着で参加できるリゾート型野外イベント 「MTV ZUSHI FES 12 supported by RIVIERA」 豪華アーティスト総勢 34 組が出演 灼熱の逗子マリーナで約 2 万人が熱狂

世界最大級のユース向け音楽&エンターテインメント・ブランド「MTV」を日本で展開するMTV Networks Japan株式会社(所在地:東京都渋谷区 代表取締役社長:沼倉重夫)、ならびに株式会社リビエラ東京(所在地:東京都豊島区、取締役社長:渡邊昇)、avex live creative inc.(所在地:東京都港区、代表取締役社長:黒岩 克巳)は、8月10日(金)、11日(土)、12日(日)に神奈川・リビエラ逗子マリーナにて**MTV ZUSHI FES 12 supported by RIVIERA**を開催いたしました。

MTV ZUSHI FES 12 supported by RIVIERAは、湘南の海を見渡せるリビエラ逗子マリーナにて MTV が開催する、水着で参加できるリゾート型野外イベントです。

今年も晴天に恵まれ、約 2 万人が来場し会場を埋め尽くしました。ライブは、海に向かって作られた Palm Tree Stage と、プールサイドの Lagoon Stage で行われ、豪華アーティストのパフォーマンスに会場は大盛り上がりとなりました。会場は、オープンと同時に水着姿で楽しむ観客も多く、ライブ終了後もプールサイドで行われる DJ タイムに多くの方が参加し最後までイベントを満喫していました。

イベントの様子は MTV にて、下記の通り独占放送いたします。

【番組放送】

「MTV ZUSHI FES 12 supported by RIVIERA Day1~Day3 一挙放送スペシャル」

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ■ Day 1(8 月 10 日分) | ■ Day 3(8 月 12 日分) |
| ・ 9 月 1 日(土) 23:00-24:30(初回放送) | ・ 9 月 15 日(土) 23:00-24:30(初回放送) |
| ・ 9 月 5 日(水) 17:30-19:00(再放送) | ・ 9 月 19 日(水) 17:30-19:00(再放送) |
| ■ Day 2(8 月 11 日分) | ■ Day1~3 一挙放送 |
| ・ 9 月 8 日(土) 23:00-24:30(初回放送) | ・ 9 月 16 日(日) 22:00-26:30(初回放送) |
| ・ 9 月 12 日(水) 17:30-19:00(再放送) | |

【MTV ZUSHI FES 12 supported by RIVIERA 実施概要】

- タ イ ト ル : MTV ZUSHI FES 12 supported by RIVIERA
- 開 催 日 時 : 2012 年 8 月 10 日(金)~8 月 12 日(日)
- 会 場 : 神奈川・リビエラ逗子マリーナ特設会場(逗子市小坪 5-23-16)
- 主催・企画制作 : MTV Networks Japan 株式会社/株式会社 リビエラ東京/avex live creative inc. 女性チャンネル ♪LaLa TV
- 後 援 : 逗子市/逗子市観光協会/逗子市商工会/FM ヨコハマ/tvk
- 特 別 協 賛 : 日本コカ・コーラ株式会社
- 協 賛 : 第一三共ヘルスケア株式会社/iPANEMA/ガシー・レンカー・ジャパン株式会社 健康コーポレーション株式会社/STONES BAR/AXE BODY SOAP ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社/ミュゼプラチナム/タウンワーク
- 協 力 : キョードー東京/ViVi
- イベントサイト : <http://www.mtvjapan.com/zushifes2012/>

◆ このリリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先
MTV Networks Japan 株式会社 広報部 露口 Tel: 03-6434-3107 / E-mail: pr@mtvn.jp
◆ このリリースに関する一般の方からのお問い合わせ先
MTV HOTLINE Tel: 044-722-6660 (自動音声) / E-mail: info@mtvjapan.com

ライブレポート

■ 10 日 Palm Tree Stage ■

THE 野党

ポルノグラフィティのギター新藤晴一と湘南乃風の SHOCK EYE、ポルノグラフィティの作品などで辣腕をふるう若手アレンジャー篤志の 3 人によって結成された THE 野党が MTV ZUSHI FES 12、Palm Tree Stage の一番手として登場！「平成航路」「アンクルミュージック」と続く、ハードかつグルービーなサウンドでツカミはばっちり。SHOCK EYE「天気恵まれたのは皆さんの日ごろの行いがよかったせい！」新藤「夏休みの真ん中、海の近く、楽しまないとウソだぜ！」篤志「水着の女の子追いかけてつよしく〜！」との呼びかけに、オーディエンスがタオルを振って応える。4 曲目の「CLAP CLAP CLAP」では、SHOCK EYE が発する「1 回！」「4 回！」というかけごえに合わせてオーディエンスが手をたたきゲームで大盛り上がり。場内の空気をぐいっと引き込んだままラストの「WILD COLOR」まで疾走！ 初日一番手とは思えないテンションの高いステージングで熱い 1 日を予感させた。

加藤ミリヤ

Palm Tree Stage、2 番手として登場したのは加藤ミリヤ。ダンサーを従えオープニングナンバー「DISIRE」をパフォーマンスし、ダンスブルなステージの始まりを告げた。「みんな水着でセクシーね」という MC には、前列に陣取った女性ファンから大きな歓声が上がり、あらためてミリヤのカリスマ的人気を感じさせる。ハードなダンスナンバーだけでなく、しっとり聴かせる曲も彼女の大きな魅力。ファンにはおなじみ「Aitai」のピアノイントロが流れ始めると会場はムーディな雰囲気。強い日差しの中、ときおりふいてくるさわやかな風もあいまって素敵な午後を演出する。「Last Summer」を挟んでラストは「HEART BEAT」。リリースされたばかり、各方面でガンガンにプレイされているキャッチーチューンのプレゼントにひととき盛り上がる会場。息づかいも生々しいパフォーマンスで灼熱の太陽のもとオーディエンスを魅了しきった！

TOTALFAT

続いて登場したのは若きメロディックパンクバンド TOTALFAT！ 日本のロックシーンの“ネクストヒーロー”と目される彼ら、バンドタオルを掲げての入場にオーディエンスもタオルを挙げて応え、Palm Tree Stage が巨大なライブハウスのような空気に！ オープニングは、まさにこの場にぴったりな「Summer Frequency」。青空に突き抜けるようなさわやかなサウンドを聴かせてくれた。ライブ中盤には彼らのレパートリーの中でも抜群のアゲカを誇る「PARTY PARTY」をドロップ。ジャンプ & タオルスピンで会場が揺らぐ！ ポジティブな言葉も彼らの大きな魅力。語りかけるような歌詞はもちろん、曲間の MC でも「この最高のシチュエーション！ おまえら全員最高！」と言葉を投げかける。ラストの「The Naked Journey」まで、場内の若いオーディエンスとともにエネルギッシュなステージングを見せてくれた。

SCANDAL

続いて登場したのはキュートなガールズバンド、SCANDAL！ 可憐なルックスとは裏腹なハードなサウンドで知られる彼女たち、のっけから新曲「太陽スキャンダラス」をぶちかまし、徐々に日が傾き涼しくなってきた返子に再び灼熱の空気を送り込む。そしてなんと、今日はボーカル HARUNA の 24 回目の誕生日！ ドラムの RINA が「今日は特別にみんなで『HAPPY BIRTHDAY』歌わへん？」とかわいらしい関西弁でオーディエンスに呼びかけ、アカペラで大合唱。ピースフルな空気に包まれた。ライブは終始ハード & エネルギッシュ。「LOVE SURVIVE」などアゲめのチューンで煽りまくる。あんな小柄な体のどこにそんなパワーが秘められるのか!? ラスト、ロックサウンドにディスコビートをフィーチャーした「EVERYBODY (SAY YEAH)」では、パワフルなコール & レスポンスで大興奮のつぼにたたき込んだ。

HAN-KUN

夕暮れ近くの Palm Tree Stage に HAN-KUN 登場！ これまで MTV ZUSHI FES には数多く参戦してきた彼、今回も素晴らしいステージングで盛り上げまくってくれた。前半戦は、時に 1 コーラス 2 コーラスで矢継ぎ早に曲を切り替えるスタイル。怒濤のようなレゲエビートの連続に、タオルを回し、ジャンプして応えるオーディエンス。合間の MC もガッツリ会場の心をつかむ。「HAN-KUN、長いステージを水分補給しなくて大丈夫なの？ってよく聞かれて、おれもなんで大丈夫なんだろう？って思ってたんだけど、よく考えたらみんなのレスポンスを補給し

てるんだったわ！」この一言でさらなる盛り上がり。「オーディエンスいじり」天下一品！ アゲ曲だけでなく、愛を語る歌「JOYFUL DAYS」などを織り交ぜつつ、あっという間に 15 曲をパフォーマンスした HAN-KUN、彼は本当、間違いない！

清水翔太

シルバーをあしらった黒の T シャツとショートパンツ姿でダンサー 4 人とともにステージに現れた清水翔太。「ツアーが終わって、フェスは今日が初めての出演。だからぼくの夏は今日始まるような感じ。一緒に楽しみましょう」との呼びかけに女性ファンの歓声が上がる。サンセットタイムの逗子、夕陽を横目に見るステージに彼の優しい声が染み渡る。「今日ここにきて、みんながプールで泳ぐところをうらやましく見てたよー。夏の思い出じゃない？ 今日のこと、いい思い出として残るように歌います」と披露された「君が好き」ではオーディエンスとともに大合唱に。温かい一体感の中、初日の Palm Tree Stage は終演を迎えた……と思ったらアンコールをねだる拍手が発生。再び DJ がステージに現れ「マダオワラナイ」のフレーズを再生！ 大歓声の中、清水翔太もステージに登場し「マダオワラナイ」をパフォーマンス。素敵なサプライズで初日を締めくくった。

■ 10 日 Lagoon Stage ■

THE NAMPA BOYS

Lagoon Stage のトップバッターを飾るのは、弱冠 19 歳にして直情的なロック・サウンドが話題のニューカマー、THE NAMPA BOYS。SE に乗ってメンバーがステージに登場すると、会場からは大きなハンドクラップが巻き起こる。1 曲目に「到来」を演奏し、ライブをスタート。小林聡里 (Vo & G) のエモーショナルなヴォーカルと、急性なビートが Lagoon Stage を心地良く駆け抜けていく。続いて「螺旋インセクト」で披露すれば、プールの中の観客もびよんびよんと飛び跳ね、たくさん手が揺れる。「僕ら THE NAMPA BOYS は全員、長野県松本市出身なんですけど、長野県には海がない。会場の後ろが海で、目の前にプールがあるステージに立って、今ちょっとカルチャーショックを受けています (笑)」と小林が MC すると、観客からは大歓声。「MTV ZUSHI FES に出演するロック・バンドとして、最大にロックします！」という力強い MC から突入したのは、「ブランジ」！ 19 歳の彼らならではの熱い衝動が響き、会場の盛り上がりはさらにヒートアップする。厳しい日差しが照り付ける中、Lagoon Stage に強烈なインパクトと爽快な熱気を運んでくれるライブだった。

Alice

会場の気温と熱気が最高潮に上昇する中、Lagoon Stage に力強く伸びやかな歌声を響かせてくれたのは、Alice。彼女のエモーショナルなヴォーカルが印象的な「moving on」で会場を沸かすと、「リズム」では観客とのコールアンドレスポンスで会場の熱狂をさらに加速させる。「MTV ZUSHI FES 12 で最高の思い出をみんなと作ってきたいと思います」と笑顔で語ると、「みんなと盛り上がりたくて用意してきた曲」と新曲「EVER AFTER」を披露。彼女の歌声とアッパーなビートにのせて、プールでは観客の手が、プールサイドではタオルがクルクルと回り、Lagoon Stage が壮観な一体感に包まれる。びよんびよんと飛び跳ねたり、歌いながらプールにビーチボールを投げ込んだり、今年で 2 回目の出演となる MTV ZUSHI FES のステージを彼女自身も本当に楽しんでいる様子だ。ラストは「スペシャル・ゲストを呼んでいます！」とステージに SHUN を呼び込み、「X LOVERS feat. SHUN」を披露。最後まで心の強い歌声と明るい笑顔で、会場のパーティー気分を盛り立ててくれた Alice に、観客からは大きな拍手と歓声が送られていた。

moumoon

今年で 3 回連続 MTV ZUSHI FES に出演を果たし、すっかりこのフェスに欠かせないアーティストの一組となった moumoon。彼女たちがステージに登場すると、観客からは一際大きな拍手と歓声が巻き起こる。YUKA (Vo) の軽やかでキュートな歌声が心地良く響く「Chu Chu」、「Sunshine Girl」を披露すれば、Lagoon Stage の盛り上がりは最高潮に。「もう一丁、盛り上がりませんか!？」と YUKA の MC から「Love is Everywhere」をスタートさせると、会場は一斉に手を揺らし、彼女たちの音楽に応える。会場を見回しながら、ステージ上で飛び跳ねながら演奏する彼女たちが、顔を見合わせて楽しそうに笑っている姿が印象的だ。「最高に気持ち良いですね。実は私もさっき、みんなに混じってプールに入りました！」と YUKA が語って会場を驚かせると、ラストは柎のアコースティック・ギターに YUKA の優しい歌声が重なる「儂火」をしっとり響かせ、ライブを終えた moumoon。彼女たちの温かなパフォーマンスに、Lagoon Stage は笑顔でいっぱいになった。

BREATHE

太陽が西に傾き、日差しが少し優しくなった時間帯に登場した BREATHE。「MTV ZUSHI FES、みんな楽しんでますか？」(多田和也)、「素晴らしいですね、この景色。今日は皆さんと最高の夏の思い出を作りたいと思います」(宮田慧)と MC すると、彼らのデビューシングル曲である「White Lies」を披露する。2 人の力強くも柔らかに歌声とハーモニーに、Lagoon Stage の空気は一変。続く「合鍵」でも切ないコーラスで Lagoon Stage をしっとり酔わせていく。海風を体に受けながら、彼ら 2 人も気持ち良さそうな表情で美しいコーラスを響かせている。「次が最後の曲です。大切な人を想って聴いてください」と宮田が MC して披露したのは、「君が好きで」。彼らの歌声に合わせて、観客は一斉に手を振って応え、爽快な一体感が巻き起こった。ラストは声を振り絞るようにして力強い歌声を響かせた 2 人。BREATHE の甘く美しいボーカルが、優しく心を震わせる夕暮れ前の一時だった。

MS.OOJA

MTV ZUSHI FES 12 初日の Lagoon Stage のトリを飾るのは、MS.OOJA。ステージに登場するなり、「Life」をアカペラでスタートさせ、迫力ある歌声で観客を圧倒する。鮮やかなピンク色の衣装に身を包んだ彼女のステージ上の存在感に、Lagoon Stage はどんどん観客でいっぱいになり。続く「My Way」は大きな手拍子で迎えられ、曲に合わせてプールの観客もプールサイドの観客も一斉に手を揺らし、爽快な空気感が Lagoon Stage を包んでいく。「MTV ZUSHI FES、元気ですか？ 良いね、最高だね」とステージから会場を見回し、楽しそうに語る彼女。「風も出てきて、過ごしやすい時間帯になったんじゃないでしょうか。プールに入っている人、寒くないですか？ 寒い？ じゃあ、みんなの心を熱くする歌を歌いたと思います」と語って披露したのは、「Be...」だ。途端に会場は大きな歓声が上がり、手拍子に包まれる。Lagoon Stage のフィナーレを、心温まる歌声で華やかに飾ってくれた MS.OOJA に、会場からはいつまでも温かい拍手が送られていた。

■ 11 日 Palm Tree Stage ■

西野カナ

MTV ZUSHI FES 12、2 日目のトップ・バッターを務めるのは、西野カナ。彼女がステージに登場すると、会場からは大きなハンドクラップが巻き起こり、華やかな興奮に包まれる。4 人の女性ダンサーをバックに「GO FOR IT !!」を披露すれば、会場の熱気はさらにヒートアップ。「みんな超良い感じです、ありがとう！ ここからもっとアガっていきましょう！」と「Come On Yes Yes Oh Yeah!!」を歌い、会場のパーティー気分を盛り立てる。観客は一斉に手を揺らし、Palm Tree Stage が爽快な一体感が巻き起こった。この夏は、レコーディングや作曲りで多忙だったため、外出する機会が少なかったという彼女。「この海のロケーションで野外ライブができるなんて、良い感じですね」と語り、明るい笑顔をみせる。「私たち」、「たとえ どんなに...」、「SAKURA, I love you?」で強く伸びやかな歌声を響かせると、ラストは「Sherie」でフィナーレ。観客は一斉にタオルを回し、MTV ZUSHI FES 12 の 2 日目の幕開けを、開放的な盛り上がりで飾ってくれた。

INFINITY16

曇り空から少し太陽の日差しがのぞく昼下がりの時間帯、Palm Tree Stage に登場した INFINITY 16 は会場に熱狂の渦を巻き起こした。まずは「INFINITY16 只今参上!!」をかけて会場を V サインでいっぱいになると、「HIGHER」では観客を一斉にジャンプさせ、Palm Tree Stage はお祭り騒ぎに。さらに若旦那の「気合いだ」をプレイし、観客からの大きな拍手と歓声を勝ち取った「元気ですかー！ INFINITY 16 です。ほとんど知らないと思うけど、CD 回してうるさいことを言うんで、お付き合いよろしく！ MTV ZUSHI FES 皿回しが舞台に立つのは初めてらしいけど、バッチリ盛り上げていけ！」と語ると、「真夏のオリオン」をかけて会場を歓喜で包み込む。さらに「MINMI かけたら、これしかないだろ！」と若旦那をボーカルに迎えたナンバー「伝えたい事がこんなあるのに」をプレイすれば、Palm Tree Stage からは大、大、大歓声。「INFINITY 16 は熱いやつ専用だから！」という言葉通り、観客を熱く、暑くアゲきってくれた INFINITY 16 のパフォーマンスに、Palm Tree Stage は最高の笑顔に包まれた。

BENI

ステージに登場するなり「crazy girl」でセクシーかつ迫力あるダンスを披露し、Palm Tree Stage を魅了した BENI。大きなハンドクラップに迎えられた「stardust」、「KISS KISS KISS」に続き、アカペラで「もう二度と...」を

スタートすると、会場からは大合唱が巻き起こる。BENI のしっとりとした美しい歌声に合わせて観客の手が揺れて、心地良い空気感が広がっていく。「良い感じで曇っていて、ちょうど良い風が吹いていて、気持ちいいね。今日のはものすごく楽しみにして来ました」と語ると、続いては 3 月にリリースしたカバーアルバム「COVERS」から「Ti Amo」「LA・LA・LA LOVE SONG」「いとしのエリー」を歌い、屋下がりの Palm Tree Stage を優しく包む。さらに「MTV ZUSHI FES、まだまだ行けますか！」と「ユラユラ」で再び会場を熱く沸かせると、最後は観客との大きなコールアンドレスポンスを決めた「Oh! yeah!」でクライマックスとなる盛り上がりと呼び、ライブを終えた BENI。海風に髪をなびかせながら歌う彼女の気持ち良さそうな表情が印象的なステージだった。

E-Girls

総勢 26 名の大所帯で、大きなステージをとことん狭しと駆けまわり、Palm Tree Stage を沸かせた、E-Girls。キュートなダンスパフォーマンスで「E-Girls Anthem」を披露すると、続いて「One Two Three」、「Celebration!」と痛快なビートにのって迫力あるパフォーマンスをみせて、観客をどんどん引き込んでいく。10 月 3 日リリースの 3rd シングル「Follow Me」を一足先に披露し、観客を歓喜させると、今度はボーカリスト 5 人だけがステージに残り「ただいま!」を熱唱し、Palm Tree Stage をしっとり揺らす。さらに「みなさんと一緒に盛り上がってきたいと思います。準備できてますか?」と再び全員がステージに戻ってくると、「Perfect Girls」では大きなハンドクラップが起こり、「ヒマワリ」では観客のタオルがクルクルと回って、爽快な一体感が巻き起こる。ラストは「みなさんと一緒に歌って踊って、この夏の最高の思い出を作りたいと思います」と「I Believe」を披露。最後まで 26 人の息のあったダンスパフォーマンスで、Palm Tree Stage をしっかりと魅了してくれた彼女たちに、会場からは温かな拍手が送られていた。

三浦大知

ライブスタート時間のかなり前から「大知〜!」コールが沸き起こっていた Palm Tree Stage。観客からの大きな拍手と歓声の中、登場した三浦大知が「Illusion Show」を披露すると、会場からはものすごい大歓声が巻き起こる。三浦大知がクールなダンスパフォーマンスと共に「RUN WAY」を熱唱すれば、観客は拳を振って応え、Palm Tree Stage はまるで三浦大知のワンマンライブのような熱気と一体感だ。観客からの声援に何度も頷きながら、「風が強かったり、曇ってたりします、が! いま確信しました。みなさんがいれば、このイベントは大丈夫ですね。天候なんて吹き飛ばして、ここが一番熱い場所にしましょう」と語って歌ったのは、ホットなサマーチューン「Magic」。途端に Palm Tree Stage に熱い興奮が広がっていく。「楽しい! 俺のライブで、俺の歌で、みんなで最高の夏の思い出を作りたいと思っていたんですが、みなさんのおかげで、僕の最高の夏の思い出になっています。ありがとうございます」とステージで語ると、「Two Hearts」をアカペラで歌い、観客の大きな拍手を受ける。温かな歌声とクールなダンス・パフォーマンス、その一挙手一投足で会場を魅了した三浦大知。ラストにド派手なダンスナンバー「SHOUT IT」でライブを締めくくり、Palm Tree Stage の観客の胸に忘れられない夏の思い出を残していった。

Zeebra

MTV ZUSHI FES 2012、2 日目のトリを飾るのは、Zeebra。「MTV ZUSHI FES、トリつつうことで、ガッツリ最後までパーティをアゲていけ!」とステージで語ると、その言葉通り Palm Tree Stage は大きな熱狂に包まれる。「Endless Summer feat. COMA-CHI」「SUPATECH(what's my name?)」「Touch the Sky」とド派手なパフォーマンスを披露すると、Palm Tree Stage の興奮はさらにヒートアップしていく。中盤では、今日 Lagoon Stage に出演した May.J をステージに招き「Shinin' Like A Diamond」を披露したり、「『え〜!!』みたいなゲスト呼んで良いですか?」と BIG RON と 565 の 2 人をステージに呼び込み「Escape feat.Full Of Harmony」をパフォーマンスしたりと、サプライズを連発。「MTV のフェスなんで、最後までガッツリとアゲてかないと、久々に出了意味がねえぜ」と語れば、「Perfect Queen」、「Dream Team feat. Dag Force」と、Zeebra の力強いラップと重厚なサウンドが、Palm Tree Stage を心地良く揺らしていく。ラストは「Street Dreams」で、ステージのフィナーレをド派手に飾った Zeebra。「最後までありがとう。俺はこの後、プールに入っていくぜ!」と語ってステージを去ると、Palm Tree Stage は今日一番の大きな拍手が巻き起こった。

■ 11 日 Lagoon Stage ■

UNIST

MTV ZUSHI FES 12、2 日目の Lagoon Stage 最初に登場したのはアコースティックギターをかき鳴らす 3 人組、UNIST。パフォーマンスするのが待ちきれない様子で、出番がまでの間、サウンドチェックとして超有名曲のカバーをオーディエンスにプレゼント！ これですっかり引きつけられた会場に向かって、まずはあいさつ代わりの「U.N.I.S.T.」。厚みのあるアンサンブルとコーラス、アコースティックギターのパーカッシブな音色が逗子の太陽によく似合う。9 月 12 日にメジャーデビューを控えている彼ら、続いてデビューシングルとなる「無限フライト」を披露。エモーショナルなメロディに引き寄せられるように、Lagoon Stage にどんどん人が集まってきた。ラストは「Summer Days」。サビのところでタオルを回して放り上げるお約束をオーディエンスとリハーサルした後、ステージとプールの一体でパーティームードを盛り上げた。

Kylee

続いて登場したのは Kylee！ 弱冠 11 歳で NBA 公式戦の国歌独唱を務めたというエピソードが物語るとおり、早くからその才能が注目されていた逸材。圧倒的な声量と表現力で一気に Lagoon Stage の注目を引きつける。「はじめまして Kylee です！ アメリカのアリゾナというところから来ました。18 歳になったばかりです！」とあいさつ。その弾けるような元気さとキュートさに、プールの男子を中心にあり得ないくらいの盛り上がり！ 飛び跳ねながら「IT'S YOU」「CRAZY FOR YOU」などをパフォーマンスする姿に拳を突き上げて大声援を送っていた。その熱気に引き寄せられるようにどんどんオーディエンスが集まってきて、Lagoon Stage は大入り状態に。素晴らしいヴァイブレーションに包まれた。

May J.

Lagoon Stage も中盤戦に入り、ステージには May J.が登場！ 待ちきれないオーディエンスでスシ詰めとなったプールへ向かってアカペラで「My Sunshine」を歌い始めた彼女。度肝を抜かれるように聴き入るオーディエンス。そしてビートが入ってくると一気にボルテージが高まった！ スパニッシュギターの音色が夏の風と相まって心地いい。次曲「風になりたい」は The Boom のカバー、May J.にうながされ会場一体で大合唱に。そのままメドレーで「RAINBOW」へとつながり盛り上がりは最高潮へ。オーディエンスのノリが素晴らしく良く、コール＆レスポンスが気持ちよく響き渡った。ラストはおなじみの「Garden」。場内は再び自然発生的に大合唱状態へ。プールの男子たちがはしゃいで作り出した水しぶきとともに、夏のパーティーの印象的な 1 シーンとなった。

JORDYN TAYLOR

続いて登場したのはアメリカ出身のシンガー、JORDYN TAYLOR。モデルも務めるというスタイル抜群の長身に、ハット、カットオフのトップス、デニムショートパンツ、スタッズ使いのブーツという出で立ちがバッチリはまり、その美貌に場内が一瞬どよめく。オーソドックスな R&B スタイルのセクシーチューン「Recognize」、弾けるような 4 つ打ちビート「Let's Get It Louder」と、ステージ狭しと歌い踊る姿にオーディエンスは釘付けになりつつも、「アリガトウゴザイマス」と時折日本語を交えた呼びかけに大歓声で応える。ラストの「mine Be 4 midnight」は高揚感あふれるダンストラック。オーディエンスもプールの中で飛び跳ね、手を振り、夕暮れ近くのパーティーを満喫していた

平井大

Lagoon Stage 2 日目のラストパフォーマーとなる平井大がピンクのシャツにサックスブルーのショートパンツというさわやかな出で立ちで登場！ 柔らかなメロディの「ALOHA」で日の暮れつつある Lagoon Stage を優しく包む。アコースティックギターをフィーチャーしたさわやかなドラムンベース「Surf Time」で上げていきながら、「Island Queen」では盟友 ALEXXX をスペシャルゲストとしてフィーチャーし盛り上がりもピークに！ ラストは「For The Future」。一際大きな歓声が上がる中、ポジティブなメッセージを届けた。

■ 12 日 Palm Tree Stage ■

BACK-ON

MTV ZUSHI FES 12、3 日目がスタート！ 開場時に小雨が降るなど空模様が心配されたが、一番手の BACK-ON が Palm Tree Stage に現れるころには、ピタッと止んで晴れ間も見えてきた。TEEDA、KENJI03、SHU、GORI の 4 人が作り上げる分厚いグループに引き込まれるように Palm Tree Stage には早くも多くのオ

ーディエンスが集結。伸びやかなメロディの「Ice cream」、強烈なジャンプアップチューン「Highway Dancer」からラストの「fly away」まで一気に駆け抜け、熱い1日の始まりにふさわしいパフォーマンスを披露した。

青山テルマ

青山テルマが大ハンドクラップに迎えられてステージに登場すると、「みなさん、一緒に手を上げてください！」と彼女のデビュー曲「ONE WAY」を披露。途端に、Palm Tree Stage 中の手が掲げられ、一斉に揺れる。観客との熱い掛け合いをみせた「CRAZY CRAZY LOVE」、しっとりとした歌声で会場を酔わせた「何度も」「ずっと。」で、Palm Tree Stage の盛り上がりをどんどん加速させていく青山テルマ。「いつも ZUSHI FES は本当に盛り上がるので、このステージに立つのを楽しみにしていました」と語って彼女の笑顔が弾ける。「こういうイベントで初めて歌う曲」とレディ・ガガの「The Edge of Glory」をカバーすれば、観客は一斉にジャンプ、ジャンプ！さらに、「MTV ZUSHI FES に来てこの曲をやらないわけにはいかない。みんなに、RED RICE さんの分をやって欲しい」と「サマーラブ!! feat. RED RICE from 湘南乃風」を披露すれば、Palm Tree Stage 中のタオルが舞い、壮大な盛り上がりにも包まれる。ラストは「LET'S PARTY!」を歌い、瑞々しい歌声と大きな笑顔で、Palm Tree Stage に最高のパーティーをもたらしてくれた彼女。気がつけば、さっきまで曇りがちだった空も、心地良い快晴に変わっていた。

SPYAIR

太陽がキラキラに輝く中、灼熱の Palm Tree Stage をヒートアップさせてくれたのは、SPYAIR の5人。「いっけ、ZUSHI FES！」と ENZEL☆(DJ) のシャウトを合図に「Rockin' the World」を演奏すると、観客は一斉にジャンプ！ SPYAIR のスケール感あるロックが、Palm Tree Stage の観客を心地良く弾けさせていく。ハードなロックサウンドと、華のあるパフォーマンスが、ぐんぐん会場の熱を広げ、Palm Tree Stage の熱気は最高潮に。「まだまだ行ける？ へばってるんじゃないの？ 今日の暑さに負けないように、もっともっと盛り上がっていきましょう！」と IKE(Vo) が煽ると、「Rock'n Roll」「0 GAME」と SPYAIR らしい痛快なロックを披露。さらにエモーショナルなボーカルが響く「BEAUTIFUL DAYS」で、観客の胸をさらに熱くさせる。カンカン照りの太陽の下、SPYAIR のアグレッシブなロックが本当に映えている。ラストの「サムライハート(Some Like It Hot!!)」では IKE と ENZEL☆ が観客に向けて水鉄砲を発射するという一幕も。熱いボーカルとサウンドで、Palm Tree Stage を最高の笑顔に撃ち抜いてくれた

ソナーポケット

バラード曲「好きだよ。～100 回の後悔～」でしっとりとしたライブをスタートしたソナーポケット。「やって来ました、ソナーポケットです！ 今日是一人ひとりが主役だよ～！」という eyeron(Vo) の声に続いて「月火水木金土日。～君に贈る歌～」を披露すれば、会場いっぱい集まった観客から歓声と手拍子が上がり、Palm Tree Stage を爽やかな熱気が駆け抜ける。「待ちに待ったこの舞台、たくさんの人たちを、ブンブン言わせるぜ」と ko-dai(Vo) が「MTV」の三文字をかけたあいうえお作文を発表して会場を沸かせると、今日のシチュエーションにピッタリの「青空」を歌い、観客の盛り上がりをさらに加速させる。「ソナポケ☆DISCO」で Palm Tree Stage をダンスフロアに変えれば、8 月 1 日にリリースしたばかりのニューシングル「君と見る未来。」を歌い、会場を温かな感動に包む。そして、「365 日の中で、一番盛り上がるのは今日だよ！」という eyeron の声を合図に「365 日のラブストーリー。」を披露すれば、観客は一斉に手を揺らして応え、壮大な盛り上がりにも。聴き手をどうしようもなくハッピーにさせる音楽で、最後の最後まで Palm Tree Stage を笑顔で満たしてくれたソナーポケットの3人。会場からの大歓声を受け、満足そうな表情でステージを後にした

Crystal Kay

真っ青な空が広がる中、鮮やかでセクシーな衣装に身を包んだ Crystal Kay がステージに登場すると、Palm Tree Stage いっぱい集まった観客からは一際大きな歓声上がる。ダンサー2人をバックに、「Be Mine」でキュートなダンスを披露すれば、Palm Tree Stage の盛り上がりはさらに急上昇。「Boyfriend -part II-」のイントロでは大歓声と手拍子が巻き起こり、Crystal Kay のしなやかで心踊らせる歌声が、観客を酔わせていく。太陽の日差しと海風を体に受けながら、「みんな大好き！ こんないい天気になって良かったよね」と語って笑う Crystal Kay も、本当にこのステージを楽しんでいる様子だ。6 月にリリースしたアルバム「VIVID」から、切ないラブバラード「Memory Box」を初めてライブで披露すれば、会場からは温かな手拍子で迎えらる。「MTV ZUSHI FES、一緒に踊って！」と「デリシャスな金曜日」を歌うと、Palm Tree Stage はクライマックスの盛り上がりにも。最後は「Forever」でフィナーレ。彼女のキラキラと明るい歌声が、Palm Tree Stage 中の観客の胸に降り注ぐ美しい一時だった

ナオト・インティライミ

Palm Tree Stage いったいの観客から割れるような大歓声を受け、ステージに現われたナオト・インティライミ。しかし、歓声の小ささに納得いかない表情でバンド・メンバーと共に一旦ステージを去り、再び登場するという展開で会場を驚きと笑いに包む。そのまま、「おまかせピーターパン」を歌うと、会場からは大きな手拍子が巻き起こり、続く「HOT! HOT!」も観客が一斉にジャンプして大盛り上がりを見せる。これにはナオトも思わず、「一言だけ言わせて。最高だ！ よくこんなアルバム曲で盛り上がってくれてありがとう！」と笑顔を見せる。会場の男性と女性にそれぞれ声を出させ、「メンズ、もっと大きい声を出せ。メンズが大きい声を出せば、女子が盛り上がる。女子が盛り上がれば、揺れる！」と彼らしいMCでPalm Tree Stageを大爆笑させると、「タカラモノ～この声なくなるまで～」、「今のキミを忘れない」を歌い、温かな歌声で会場を酔わせる。ステージから会場を眺めながら、「喋るのがもったいないぐらい、極上の時間だね」と彼も楽しそうに笑う。「マワセ マワセ」では会場中のタオルが周り、「カーニバル？」ではお祭り騒ぎの盛り上がり。太陽のお祭り男ならではの熱く楽しいステージに、Palm Tree Stage ぎっしり集まった観客は最高の笑顔に染まった。

三代目 J Soul Brothers

MTV ZUSHI FES 12 の大トリを飾るのは、三代目 J Soul Brothers！ 7 色の衣装に身を包んだ 7 人がステージに現れると、待ち受ける超満員の観客からは大、大、大歓声。「NEW WORLD」でライブをスタートした彼らは、圧倒的なパフォーマンスで Palm Tree Stage を魅了する。今年で 2 年連続このフェスのトリを務める彼ら。「ついにこの日がやって来ました！ 去年の夏の思い出といえば、MTV ZUSHI FES です。今年もみなさんと最高の夏の思い出を作りたいと思います！」とこのステージに掛ける強い思いを語り、今市隆二と登坂広臣のボーカル 2 人だけがステージに立って、「0～ZERO～」収録のバラード曲「花火」と「君となら」を披露。2 人のしっとりとしたコーラスとファルセットが、夕暮れ時の Palm Tree Stage に心地良く響いていく。そして「まだまだ盛り上がっていきましょう！」と「Go my way」「(YOU SHINE) THE WORLD」で観客の歓喜を爆発させれば、ラストは DOBERMAN INC の 4 人をステージに招いて「FIGHTERS」を披露。最高の盛り上がりで、3 日間にわたって行われた MTV ZUSHI FES 12 のグランドフィナーレをド派手に飾ってくれた。

■ 12 日 Lagoon Stage ■

GOLD RUSH

「ハイサイ～、MTV ZUSHI FES にメンソ～レ～」と沖縄弁で Lagoon Stage の舞台に現れた GOLD RUSH！ 午前中の不安定な空模様はどこへやら、この 3 日間で一番の晴天に。その青空のように明るいキャラの Kota と Usekay に導かれて観客が次々とプールへと入ってきた。1990 年代の世界的メガヒット「マカレナ」の GOLD RUSH バージョンでは、サビ部分で「ゴールドラッシュ」のコール & レスポンスで大盛り上がり。続く夏の海の甘酸っぱいエピソードをつづった「ビーチパーティー」は、まさにこのシチュエーションにぴったり。ラスト「宝物」のポジティブなメッセージもオーディエンスの心に染み渡ったことだろう。

シクラメン

リーダー DEppa の水鉄砲攻撃で幕を開けたシクラメンのステージ！ 午後 2 時の、最も気温の上がった時間帯にふさわしいお祭りパフォーマンスが炸裂した。「メインステージに負けるんじゃないよ～」という呼びかけに大声援を送るオーディエンスの数がハンパじゃない！ 桃紅茶、肉だんごとの 3 人のコーラスワークも冴え渡り、場内の一体感も最高潮。ラテンプレイヤーあふれる「ボルケーノ」では水しぶきの量もピークに。締めくくりは美しいピアノをフィーチャーしたダンストラック「MUSIC」。最後の最後まで盛り上がりっぱなしの Lagoon Stage だった。

The BK Sound

ソロアーティストとして活動するかたわら、湘南乃風のバックセレクトとして彼らのライブでは欠かせない存在となっている The BK Sound が Lagoon Stage に登場！ イケイケのダンスホールからルーツレゲエ、スカなどをセレクトしながら、持ち前のハイテンションなおおりでオーディエンスをグイグイと引っ張っていく。ハイライトはショーの後半に登場したダンサーの I-VAN。なんと彼は、先週ジャマイカで行われた「World Reggae Dance Championship」で優勝したのだ。ダンス界の金メダリストの誘導でオーディエンスもプールの中でダンス！ ボルテージはどこまでも上がっていった。

LGMonkees

夕暮れ間近の Lagoon Stage に、仙台からやってきたシンガーLGMonkees が登場！ バックトラックを担当する DJ が新幹線に乗り遅れたそうで、急遽マネージャーさんが DJ を担当（笑）。このアクシデント（？）をプラスの推進力に変えるのが彼のすごいところ。オーディエンスに向かって「DJ KANBE」の名前をコールさせてガンガンに盛り上げていった。披露された曲は、このシーズンにぴったりの「花火」、父親に贈られた温かいメッセージ「3090～愛のうた～」、ストレートなラブソング「イマアイ」の 3 曲。優しいメロディに包まれた言葉の 1 つ 1 つが、夏の空気に染み渡った。

PES

RIP SLYME の MC として知られる PES がソロアーティストとして Lagoon Stage に（ネコのかぶりものをかぶって！）登場。RIP SLYME とはひと味違う、アコースティックギターを奏でながらのパフォーマンスは、さわやかな歌声と相まって夏色そのもの。9 月 12 日に発売されるデビューアルバムのタイトルトラック「素敵なこと」、ときめき夏ソング「シーサイドラバーズ」、そしておなじみの「女神の KISS」を披露。オーディエンスと一体になってサンセットタイムの逗子を最高の雰囲気でも盛り上げた。西に目をやると夕陽の柔らかな光、昼間の灼熱がうそのような涼しい風も心地よくそよぎ、PES の歌声、アコースティックギターの音色に溶け込んでいった。